



アクテノン

NO.46

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

三月うさぎを追いかけて



まちなか芸遊祭2004参加
劇団きまぐれ公演
「橄欖(オリーブ)」
10月22日～24日 植木倶楽部にて

初舞台というのは、芝居をやっている人間にとって、楽しかったり恥ずかしかったり、それぞれ強く思い出に残っているものです。私の場合は、中学三年生の学園祭でした。その年の演劇部は「不思議の国のアリス」を上演する事になっていました。すてき！何て女子校らしい可愛く華やかなお話なんでしょう！初舞台で、主役のアリスを狙う程、ずうずうしくはない私ですが、夢がありました。物語中、楽しそうなティーパーティを開いている、三月うさぎと呼ばれる、茶色いうさぎの役が演りたかったのです。しかし、台本・演出を担当した私の同級生は、こう言いました。「京子はさあ三月うさぎの役にはちょっと背が小さいんだよねー」「え～そうなんだ」がっかりしつつも、あくまでうさぎに拘りたい私は、早くも妥協します。「じゃ白うさぎの役はだめ？」いつも時間を気にしている白いうさぎも出てきます。演出の答えは、これにも「NO」白うさぎも背の高い子の方が良いというのです。更に私は妥協します。「チェシャ猫の役は？」ニヤニヤ笑ってばかりいる猫も登場します。「猫の役は、ぬいぐるみでいこうと思う。「じゃあ、何だったら良いの？」「うーん、京子はイモ虫かなあ」「えっイモ虫って、あの、むしの？」「そう、どーする？やめとく？」「・・・やる。」こうして、私の初舞台は幕を開けたのです。結果は意外にも大成功。自分で書いたイモ虫のセリフも受け、うさぎは、出来なかったけれど、私は大満足でした！

益川 京子 (役者・劇団きまぐれ)

その後、高校でも演劇部に入り、更に劇団にも参加すると、自分達で考えて創っていく芝居づくりの面白さに目ざめ、次々と作品を上演すると共に、外部の公演にも参加させて頂く様になっていきます。自爆するロボットの女の子の役から始まり、天才バイオリニスト、編集者、サザエさん、妖精の女王、うどん屋の親父にバスガイド、星の王子様に戦争未亡人、シングルマザーに川上貞奴、等々。また、創作だけでなくシェイクスピアを演り、ギリシャ悲劇を演り、泉鏡花にロルカにワイルドと・・・あーキリがない、何でもこんなに沢山、舞台をやっているのか？そもそも飽きっぽい私が、何故長い間演劇を続けているのでしょうか？

今、私の前には*「回天の夏」というタイトルの台本があります。終戦60周年を記念して、実際に特攻隊で出撃された方をモデルに描かれた作品です。死を覚悟した人と、それを見送る人々。残された当時の女性は、何を心の支えにして生きて行ったのでしょうか？今の私には、死が自分と隣合わせにある生活、というものを、実感しにくいのです。

何度舞台に立っても、毎回新しい課題が、目の前に立ちはだかります。するとその度に、あの憧れの三月うさぎがクルリと振り返って聞いてきます「この謎、解ける？」びよんびよん跳ねながら去っていくうさぎの背中に、イモ虫の私は必死で叫ぶのです「必ず、本番までには、出来るようにするから、待っててねー！」

*「回天の夏」15月12日～15日 名東文化小劇場にて

トピックス

劇団人工子宮第29回公演「なつのもゆき」の稽古について



東京国際芸術祭2005
リージョナルシアター・シリーズ公演
劇団人工子宮「なつのもゆき」
3月5日～6日 東京芸術劇場小ホールにて

このプログラムの成立基盤の広さに気がついたのは、不覚にも劇場で多くの若いボランティアスタッフに出会った時である。彼、彼女らの達成感に少しでも貢献できたであろうか。今回の舞台「なつのもゆき」がお客様や多くの関係者に答えることが出来たかどうかを見極めるためのリトマス紙のようにも感じる。

さて、稽古期間を振り返ってみたい。今回は一年半前の舞台の再演である。人工子宮の役者には、初演の成功と失敗の全ての詳細を頭と身体で思い出しその上に新たな舞台を構築して欲しいと思った。ゆえに、本読みは一回とし以後は全舞台道具を揃えての立ち稽古とした。稽古場は初演同様にアクテノンである。しかし一年以上前の舞台の感覚はすぐには戻らない。役者が表現するのは台詞だけではない。身体の動き、衣ずれの僅かな音。同じアクテノンの稽古場で同じ間尺で同じ道具を手取る。役者に「ああ、そうだった」と感覚が戻るのを目の当たりにすると、このアクテノンという施設のありがたさを実感した。半ばアトリエを持っているような使用感であった。

東京での演劇の稽古場事情は一部を除き、悪い。金銭面から公共の施設を使うことが多いのだが、例えば、予約制限のため一日に複数の稽古場を道具一切持参で移動したりする。受付で部屋の鍵をもらうのは入国審査にも似ている。「私たち、悪いことしません。これ

インディアン・サマー

三好 由起 (小春日和)

「なつのもゆき」の初演2003年・再演2005年(リージョナルシアター参照)に演出として参加。東京在住。

らは舞台道具です。」言葉は通じない。とりあえず丁寧にスマイル。納税者の私がなぜ使えないのか？十年経っても状況はさほど好転していない。稽古場の悪条件は時間を無駄にし、稽古内容を流動的にし、最終的には舞台品質に関わる。

今回は、計画した稽古の総時間に対し実績は約5時間減で、ほぼ予定通りの進捗であった。稽古開始前に全日程予約可能であったことと、舞台製作を理解されているスタッフの方々の存在が大きく寄与している。

海外のある街で、様々なアーティストや演劇・バレエのカンパニーに創作の場所を提供している美しい歴史的建造物にめぐりあったことがある。カフェあり、専用図書館あり、週末は野外マーケットが立ち並び親子連れも多い。路面電車で高齢の車掌が演劇カンパニーの若い役者の運賃を2\$まけていた。ファンなんだそう。不公平な顔つきをしていたのは私だけであった。いい話ではないか。

舞台製作に関わる誰もが、専用施設の存続や新規設置を期待するであろう。そういった活動をされているアクテノンのスタッフおよびリージョナルシアター事務局の方々に僅かでも貢献できたであろうか？舞台製作への努力は最低限の礼儀にしかならない。私個人反省会の大きなテーマである。

アクテノン・シャワー

「アクテノンにやってきた演劇チラシ展」のお知らせ

演劇の公演に出かけた時、入口でもらったチラシはどうしていらっしやいますか？劇団は公演するにあたり、たくさんの方に見ていただけるようにと願いを込めてチラシを作ります。そんなチラシも公演が終わるとその使命を終え、忘れられ、捨てられてしまうという果敢ない運命です。そんなチラシ達が再び甦ります。アクテノンにやってきた、ちょっと懐かしいチラシの展示会です。ぜひ見に来てってください。

- * 期間：平成17年6月7日～7月31日 月曜日は休館日です。
(ただし、7月18日は祝日のため開館し、7月19日が休館日になります。)
- * 時間：午前9時から午後7時
- * 公共交通機関にてご来場ください。

定期利用の受付について

平成18年度(平成18年4月～平成19年3月)分の定期利用を次のとおり受付いたします。

- * 受付期間/平成17年7月1日～15日(月曜日は除く。)
- * 対象/演劇の練習
- * 貸出施設/大練習室1・2、及び小練習室1(いずれも4階)
- * 利用方法/利用年度を通じて、月2日以上15日以内(ただし、1週間につき3日以内、同一曜日、同一使用時間区分)、1日につき2区分以内。
- * 使用料/平成17年9月末日までにお支払いいただきます。

アクテノン利用団体紹介

①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④代表者名、住所、電話

演劇 ナゴヤ・プレーヤーズ NAGOYA PLAYERS



ナゴヤ・プレーヤーズはその30周年記念に、思わぬ災難・運命の急変・予期せぬ愉快な出来事・多くの状況の転換がいついつまったコメディを皆さんにお届けします。精神科医のプレティス氏が、新しく秘書になる女性に、服を脱ぐよう指示した時から、午後の時間は彼の手に負えない状態に突入していきます。6人の多彩な人物が、驚きのクライマックスに向け、状況の把握、正常な精神状態、さらには自分達の衣服さえ失いながら、それぞれの滑稽なやり方で、この非常に展開の速い喜劇に登場します。

①1975年 ②60名 ③A Man For All Seasons/愛知芸術文化センター('04) The Credeaux Canvas('04) Twelfth Night('03) ④Oliver Millingham
http://www.nagoyaplayers.org

アクテノンに一言 アクテノンを利用して2年になりますが、野外でのリハーサル場所を提供していただいたり、名古屋で英語劇を上演するという私たちの試みへの、スタッフの方々の多大なサポートに大変感謝しています。

演劇 てんぷくプロ



「皆様と共に走る」をキャッチフレーズに、今年いよいよ20年目を迎えるてんぷくプロでございます。20年記念は七ツ寺共同スタジオで「弥生町の空」を5月28日～6月5日に8ステージとロングランします。結構無謀です。平均年齢40ンオ、時に歌いながら踊ります。(ピンクレディーか!!) 个性的でステキな役者がそろっていて貴方の心をワシづかみにします。ワクワク・ドキドキ、そしてジーンとする芝居をします。若い劇団員とお客さまを大募集しています。

①1985年 ②10名 ③サンダルビーチ2/G/pit('04) パーマネント・ピース/アトリエ・ツバキハウス('03) 終わらない歌/金融品販売秘宝館('02) ④なし 〒464-0853 名古屋市中種区小松町7丁目13-1-403
☎(080)3618-5632

アクテノンに一言 劇団は古いけれど、アクテノンは初心者です。今後もよろしく願います。冬寒くない、夏暑くない稽古場なんて、何てゼイタクなんでしょう。思わず肉練しちゃっています。

公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p>TORIBEKOカンパニー旗揚げ公演!! 『君の生きる場所、ボクの幸せ。』</p>	<p>① 名古屋市女性会館(地下鉄「東別院」下車徒歩5分) ② 6月10日(金) 7:00、11日(土) 11:00 4:00 ③ 1,000円(前売り・当日共) (小・中・高は学生証の提示で500円) ④ ☎080-5115-1982(制作) TORIBEKOカンパニー旗揚げ公演!是非見に来て下さい!!</p>
<p>へいわゆめつくりびと 平和世創人ちむどんどん 『KOZA2005』 脚本・演出 秋吉拓史</p>	<p>① 名古屋市港文化小劇場 ② 6月25日(土) 3:00 7:00、26日(日) 1:00 ③ 一般 2,500円 中学生 2,000円 小学生 1,000円(当日各500円増し) ④ ☎052-461-2525 http://www.chimudon2.net/ 現在の沖縄市、コザで生きる人々、家族愛、友情を描きます。</p>
<p>KOP 第11回公演 『戦争とか、平和とか。』</p>	<p>① 愛知県芸術劇場小ホール ② 7月16日(土) 3:00 7:00、17日(日) 2:00 ③ 一般 2,200円(当日2,500円) 高校生以下 1,000円(前売・当日共) ④ ☎090-1741-0254(山本) http://www.kop-net.com 2003年8月以来、2年ぶりの公演です。“KOPなりの戦争物”に乞うご期待。</p>
<p>劇団ちゃりんこ 第19回公演 『虚実の向日葵』 キョジツ ノ ヒラソル</p>	<p>① 名古屋市中村文化小劇場 ② 8月27日(土) 7:00、28日(日) 12:00 4:00 ③ 800円(当日1,000円) ※インターネット予約あります。 ④ ☎090-4441-4589 kiri@gekidan-charinko.com http://www.gekidan-charinko.com 瞳に映る姿は真実、映らぬ姿もまた真実。語る言葉に偽り隠し、語れぬ言葉に想い募らす。</p>



編集発行/平成17年5月25日
(年4回)

名古屋市文化振興事業団 名古屋市演劇練習館(アクテノン)
〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47
TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は再生紙(古紙100%白色度80%)を使用しています。